

三三四五番

天橋あまはしも 長ながくもがも 高たか山やまも 高たかくもがも 月つき読よみ
の 持もてるをち水みづ い取とり来きて 君きみに奉まつりて を
ち得えてしかも

反歌

三三四六番

天あめなるや 月つき日ひのごとく 我あが思おもへる 君きみが日ひに
異けに 老おゆらく惜をしも

三三四七番

沼ぬ名ながは 底そこなる玉たま 求もとめて 得えし玉たまかも 拾ひりひ
て 得えし玉たまかも あたらしき 君きみが 老おゆらく惜を
しも